

## ○「未来の学校」とは？

渋谷区の目指す未来像「ちがいを ちからに 変える街。」 子供一人一人が自分の個性を伸ばし、先進的で柔軟な考えを育む「未来社会をよりよく生きるための教育」に取り組んでいます。学校内外における様々な教育リソース（資源）をフル活用して、より良い学校教育を通して、より良い未来社会を創ることを目指す学校…『未来の学校』です。

## ○ 学校施設の未来像からのアプローチ

ハード面では「渋谷区『新しい学校づくり』整備方針～学校施設の未来像と建て替えロードマップ～」[https://www.city.shibuya.tokyo.lg.jp/kodomo/gakko-kyn/ika/ken-gakko/starashii\\_gakko\\_gakuri.html](https://www.city.shibuya.tokyo.lg.jp/kodomo/gakko-kyn/ika/ken-gakko/starashii_gakko_gakuri.html) として、具体的なイメージや整備水準、ロードマップ（行程表）などの整備方針をまとめています。

## ○「未来の学校」創造ビジョン

この「未来の学校」を創造するためのソフト面（新しい学校で実践される教育活動）について、原宿外苑中学校の取組の方向性をまとめたものが「未来の学校」創造ビジョンです。学校施設の革新とともに「新しい学び」をデザインしていきます。

## 教育目標 Educational Goal

### Connect to the Future

すべてを「未来へ」つなぐために  
 -Challenge & Evolution-  
 ～挑戦と進化～



高度化した先端技術を使いこなし、多様な他者の価値観や特性の差異、世界的な環境の変化等と協調して、これまで経験したことのない様々な課題を主体的に解決していくことのできるグローバル人材の育成を目指し以下の目標を設定します。

### Communication

多様な他者との主体的な「コミュニケーション」により「自分のよさや可能性を探究する」とともに「あらゆる他者を価値のある存在として尊重」することができる

### Collaboration

多様な他者との協調・協働「コラボレーション」により「様々な社会的変化を乗り越える」ことができる

### Innovation

多様な他者の考えを統合することで「新しいコト・モノ」を創出する「イノベーション」により「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手」となることができる

## Concept 2023 学びのイノベーション（革新）に向けて

### Diversity 多様性

目指すのは「ちがいをちからに変える学校」  
 この実現のために「そろえる」教育から「伸ばす」教育への転換を図っていきます。具体的には、生徒自身が自分なりの「解」を求めて、探究する授業デザインへの転換です。  
 シンヤ未来科では、学校内外における様々な教育リソース（資源）をフル活用した探究型の学び（PBL=Project Based Learning）を展開するとともに、この学びを各教科の学びへと広げていきます。

例：2022年度「新たな学び」に向けた挑戦

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/78231/484227.pdf>



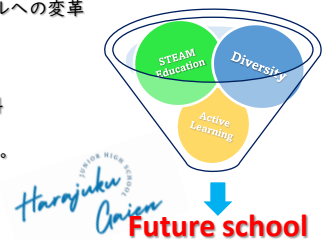
### Active Learning 主体的・対話的で深い学び

多様な他者と協調することで課題解決につながる授業をデザインしていきます。「教える」スタイルから「ともに探究する」スタイルへの変革

### STEAM Education

Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の様々な要素を含む、各教科の学びを通して、実社会での課題解決に活かす学び（シンヤ未来科）を創造していきます。

シンヤモデルタブレットPC、VR技術やDrone等の先端技術と学びの融合に挑戦してDigital Citizenshipの育成に取組みます。



## さまざまな理由で学校・教室に適応しにくい生徒を徹底的に支援します 「生活指導」から「生徒支援」への転換

### 基本コンセプト 「信じ 待ち 許す」

生徒を100%「信じる」こと、丁寧に指導して「待つ」こと、失敗を「許し」成長につなげること。

いじめ 未然防止・早期発見・早期対応・再発防止を徹底します

不適応対策 保護者との協働により原因を探り、生徒との関係を構築して、粘り強く支援していきます。

## 「学校の常識」=「社会の常識」を目指して

### 学校DX（デジタルトランスフォーメーション）

「学び」だけではなく「校務」に至るまで、デジタル化に適したものは、徹底的かつ躊躇せずデジタル化を図ります。単にこれまでの業務をデジタル化するのではなく、根本からデジタルネイティブへの変革を進めていきます。

#### 令和5年度重点項目

- テクノロジー（先端技術）活用授業の実践  
 未来を見据えたテクノロジー（先端技術）と学びの融合を図ります。
- 校務DX  
 校務改善推進チームを編成して、DXによる徹底した校務の効率化に取組みます。
- 会議の精選（徹底した業務効率化）  
 教職員の会議の効率化を図ります。議題と案件説明を整理することにより会議時間の短縮します。  
 案件説明はDXによる共有化を推進します。
- 教育ダッシュボードの活用による生徒支援の重層化

## Don't think. Just do ! “やっちゃえ” HarajukuGaien

これまでやってきた教育活動を踏まえ「未来の学び」を試行錯誤して構築していく必要があるといわれている中で「新たな課題」が数多く出現することが予想されます。これらの課題を乗り越えるために「実行力」が重要です。子供たちのために「良いこと」はとことんやる。そして、やり切る「突破力」も必要です。この「実行力・突破力」を引き出すために

Don't think, just do ! やっちゃえ” HarajukuGaien を合言葉に新しい教育活動を展開していきます。